

① NHK ONEアカウントを登録いただくと、より便利な機能もお使いいただけます >

× 閉じる

ニュース

新着・注目 >

社会 >

政治 >

経済 >

気象・災害 >

>



看護師養成現場のパワハラ防止へ 息子亡くした男性がNPO設立

2026年3月6日午後9時02分

シェアする

医療・健康

看護師を養成する教育現場でのパワーハラスメントなどをなくそうと、看護専門学校に通っていた息子がみずから命を絶った岐阜県の男性が看護学生の相談などに応じるNPO法人を設立しました。

6日、岐阜県庁で会見したNPO法人「全国看護学生はぐくみネット」の代表理事を務める高橋裕樹さんは、4年前、看護専門学校に通っていた19歳の長男を亡くしました。

長男の死をきっかけにSNSなどに相談窓口を設けたところ、2月までのおよそ2年半に看護師を養成する全国の専門学校などの学生から、教員からのパワーハラスメントなどの相談が300件以上寄せられたということです。

相談の内容は、教員や実習を担当する看護師との関係や指導に関する悩みがおよそ60%を占めていて、成績や評価に関する悩みが10%、メンタルヘルスに関する悩みが8.7%だったということです。

看護師を養成する専門学校などは小規模なところが多く、相談窓口を設けるのが難しいなど構造的な課題があると指摘しています。

NPOは、公認心理師などの専門家が相談に応じる支援活動を行うほか、看護教育の現場の改善に向けて国や都道府県、学校などに働きかけ、ハラスメント防止に向けたガイドラインの策定を目指しています。

高橋代表理事は「NPOが第三者として関わることで看護学校の教育現場がもう少し開かれたものになれば状況は改善するのではないか」と話しています。

注目ワード

医療・健康

仕事・働き方

岐阜県

あわせて読みたい

NO PRINTING

消費者庁 脱毛サロン勧誘めぐり 経営する東京の会社を
行政処分

3月6日午後7時44分

NO PRINTING

インフルエンザ患者数 3週連続減少も一部地域患者多
い状況続く

3月6日午後5時45分